TADOKU JUNIOR　せかいのなぜなに神話　★★★☆☆ ふつう　720語

Why there is a Hare in the Moon

どうしてお月さまにウサギがいるの？

Florence Holbrook（1902年の本）　原文そのまま　朗読：Raybrite

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　なかよくくらすウサギ・サル・キツネのところに、三びきがかりゅうどだと思った、おなかをすかせたマニトウがやってきました。三びきはそれぞれ食べ物をさがしますが……。

Many strange things happened long ago, and one of them was that a hare, a monkey, and a fox agreed to live together. They talked about their plan a long time. Then the hare said, "I promise to help the monkey and the fox." The monkey declared, "I promise to help the fox and the hare." The fox said, "I promise to help the hare and the monkey." They shook hands, or rather shook paws. There was something else to which they agreed, and that was that they would kill no living creature.

The manito was much pleased when he heard of this plan, but he said to himself, "I should like to make sure that what I have heard is true, and that they are really gentle and kind to others as well as to themselves. I will go to the forest and see how they behave toward strangers."

The manito appeared before the three animals, but they thought he was a hunter. "May I come into your lodge and rest?" he asked. "I am very weary."

All three came toward him and gave him a welcome. "Come into our lodge," they said. "We have agreed to help one another, so we will help one another to help you."

"I have been hungry all day," said the manito, "but I should rather have such a welcome than food."

"But if you are hungry, you must have food," declared the three animals. "If there were anything in our lodge that you would care to eat, you might have part of it or all of it, but there is nothing here that you would like."

Then said the monkey, "I have a plan. I will go out into the forest and find you some food."

When the monkey came back, he said, "I found a tree with some fruit on it. I climbed it and shook it, and here is the fruit. There was only a little of it, for fruit was scarce."

"Will you not eat part of it yourself?" asked the manito.

"No," answered the monkey. "I had rather see you eat it, for I think you are more hungry than I."

The manito wished to know whether the fox and the hare would behave as unselfishly toward him, and he said, "My good friends, the fruit was indeed welcome, but I am still hungry."

Then the fox said, "I will go out into the forest and see what I can find for you."

When the fox came back, he said, "I shook the trees, but no more fruit fell. I could not climb the trees, for my paws are not made for climbing, but I searched on the ground, and at last I found some hominy that a traveler had left, and I have brought you that."

The manito had soon eaten the hominy. He wished to know whether the hare would behave as kindly as the others, and before long he said, "My good friends, the hominy was indeed welcome, but I am still hungry."

Then the hare said, "I will gladly go out into the forest and search for food." He was gone a long time, but when he came back, he brought no food.

"I am very hungry," said the manito.

"Stranger," said the hare, "if you will build a fire beside the rock, I can give you some food."

The manito built a fire, and the hare said, "Now I will spring from the top of the rock upon the fire. I have heard that men eat flesh, that is taken from the fire,

and I will give you my own."

The hare sprang from the rock, but the manito caught him in his hands before the flame could touch him, and said, "Dear, unselfish little hare, the monkey and the fox have welcomed me and searched the forest through to find me food, but you have done more, for you have given me yourself. I will take the gift, little hare, and I will carry you in my arms up to the moon, so that every one on the earth may see you and hear the tale of your kindness and unselfishness."



The Indians can see a hare in the moon, and this is the story that they tell their children about it.

むかしはふしぎなことがたくさんおこりましたが、そのひとつは、ウサギとサルとキツネがいっしょにくらすことにしたことでした。三びきは、長いあいだそのけいかくについて話しあいました。それからウサギが言いました。「ぼくは、サルとキツネをたすけるとやくそくするよ。」サルは言いきりました。「ぼくは、キツネとウサギをたすけるとやくそくするよ。」キツネは言いました。「ぼくは、ウサギとサルをたすけるとやくそくするよ。」三びきはあく手をしました。いえ、あく「あし」をしました。三びきは、もうひとつやくそくをしました。それは、生き物のいのちをけっしてうばわない、ということでした。

このけいかくを聞いて、神さま（マニトウ）はとてもよろこびましたが、心の中で思いました。「聞いたことが本当かどうか、たしかめてみたい。三びきが、なかまどうしだけでなく、ほかの者にも本当にやさしく親切なのかどうか。森へ行って、知らない者にどうふるまうか見てみよう。」

マニトウは三びきの前にあらわれましたが、三びきはかりゅうどだと思いました。「あなたたちの家に入って、休ませてもらえませんか」とマニトウはたずねました。「とてもつかれているのです。」

三びきはそろってそばへ来て、マニトウをかんげいしました。「どうぞ、ぼくたちの家へ入ってください」と三びきは言いました。「ぼくたちはたすけあうとやくそくしたので、みんなでたすけあって、あなたをたすけます。」

「一日じゅう、おなかがすいていたのですが」とマニトウは言いました。「食べ物より、こんなかんげいをうけるほうがうれしいです。」

「でも、おなかがすいているなら、食べなくちゃ」と三びきは言いきりました。「家の中に、あなたが食べたいものがあれば、少しでも全部でもさしあげるんですが、ここにはあなたの好きそうなものは何もないんです。」

するとサルが言いました。「いい考えがある。森へ行って、食べ物をさがしてきてあげる。」

もどってきたサルは言いました。「くだものがなっている木を見つけたよ。木にのぼってゆすったら、ほら、くだものだよ。くだものが少ない時期だから、ちょっとしかなかったけど。」

「あなたも少し食べませんか」とマニトウはたずねました。

「いいえ」とサルは答えました。「あなたが食べるのを見ていたいんです。ぼくより、あなたのほうがおなかがすいていると思うから。」

マニトウは、キツネとウサギも同じように、自分のことよりも人のことを考えてくれるか知りたくて、言いました。「みなさん、くだものは本当にありがたかったのですが、まだおなかがすいています。」

するとキツネが言いました。「森へ行って、何か見つけてきてあげましょう。」

もどってきたキツネは言いました。「木をゆすったけど、もうくだものは落ちてこなかったんだ。ぼくのあしは木のぼりには向いていないから、木にはのぼれなかった。でも地面をさがしたら、とうとう旅人がのこしていったトウモロコシのおかゆを見つけたから、持ってきたよ。」

マニトウはすぐにおかゆを食べてしまいました。マニトウは、ウサギもほかのふたりと同じように親切にしてくれるか知りたくて、しばらくすると言いました。「みなさん、おかゆは本当にありがたかったのですが、まだおなかがすいています。」

するとウサギが言いました。「よろこんで森へ行って、食べ物をさがしてきます。」ウサギは長いあいだもどりませんでした。もどってきたときには、食べ物を何も持っていませんでした。

「とてもおなかがすいているのです」とマニトウは言いました。

「旅の方」とウサギは言いました。「岩のそばで火をたいてくだされば、食べ物をさしあげられます。」

マニトウが火をたくと、ウサギは言いました。「では、ぼくは岩のてっぺんから火の上へとびおります。人は火で焼いた肉を食べると聞きました。ぼくの体をさしあげます。」

ウサギは岩からとびおりましたが、マニトウはほのおがウサギにふれる前に、両手でウサギをうけとめて言いました。「自分のことより人のことを考える、やさしい小さなウサギよ。サルとキツネはわたしをかんげいし、森じゅうをさがして食べ物を見つけてくれた。でもおまえは、それ以上のことをしてくれた。自分自身をさしだしてくれたのだから。そのおくり物をうけとろう、小さなウサギよ。おまえをうでにだいて、お月さまのところへつれていこう。地上のみんながおまえを見て、おまえのやさしさと思いやりのお話を聞けるように。」

北アメリカの人々には、お月さまの中にウサギが見えます。これは、そのウサギについて、人々が子どもたちに話して聞かせるお話です。

たんご と クイズ　どうしてお月さまにウサギがいるの？

hare ウサギ（野ウサギ）	**monkey** サル	**fox** キツネ
fruit くだもの	**paws** （動物の）あし	**fire** 火
rock 岩	**moon** お月さま	

Q1 三びきがくらしていた動物は、ウサギとサルとだれ？

① クマ　② キツネ　③ オオカミ

Q2 サルが旅人に持ってきた食べ物は？

① くだもの　② 魚　③ おかゆ

Q3 マニトウは、ウサギをどこへつれていった？

① 海の底　② 森のおく　③ お月さま

こたえ

Q1 ②　ウサギとサルとキツネの三びきが、おたがいにたすけあうとやくそくして、いっしょにくらしていました。

Q2 ①　サルは森でくだものがなっている木を見つけ、のぼってゆすって、くだものをとってきました。

Q3 ③　マニトウはウサギをうでにだいて、お月さまのところへつれていきました。みんなに見てもらうためです。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #22420（Florence Holbrook、1902年）。パブリックドメイン。
挿絵：(1902 edition)（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Raybrite（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。